

キャラクター名  
マッド (クロに名付けられたもの)

プレイヤー名

シンドローム	ノイマン エグザイル		ワークス	泥棒	カヴァー	浮浪者
オプション			年齢	15	性別	男
覚醒	素体	衝動	破壊	初期侵食率	32	%
出自	FH被験者	経験	秘密	邂逅	師匠	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	29
肉体	2	0	1			3	行動値	7
感覚	1	1	0			2	(非装備時)	7
精神	3	0	0			3	戦闘移動	12
社会	2	0	0			2	全力移動	24

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃			RC			交渉		
回避	1		知覚	1		意志			調達		
運転:	2		芸術:			知識:	2		情報:裏社会	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ナイフ	白兵	3r		2		白兵/射撃

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	

合計装甲: 0    合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
とあるFH組織	P 尽力	N 恐怖		
クロ	P 傾倒	N 不信感		
アッシュローズ	P 好奇心	N 憐憫		
	P 連帯感	N 憤懣		
	P 連帯感	N 劣等感		
	P 連帯感	N 脅威		
	P 好奇心	N 憎悪		

最大財産P: 4    残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
異世界の因子	1	5	オート				80↑	
効果:	誰かのエフェクトを習得する							
壁に耳あり	5	1	メジャー					
効果:	情報ダイス+LV+1							
コンセントレイト	3	2	メジャー					
効果:	C値-3							
オールレンジ	5	2	メジャー					
効果:	ダイス+LV							
急所狙い	5	2	メジャー					
効果:	攻撃+LV*2							
十徳指	★							
効果:	指を万能ツールとして変形させる							
異形の歩み	★							
効果:	身体を変形させどこでも移動							
異能の指先	★	3						
効果:	記憶を読み取る							
鍵いらすの歩み	★							
効果:	身体を変形させ隙間を移動							
擬態の仮面	★							
効果:	顔を他人に変える							
物質変化	★							
効果:	身体を無機物に変形する							
効果:								
効果:								

とあるFH組織の人体実験で本人人が持つ感情を消すことで、対象を精神的に不安定な状態に置き、オーヴァードとしての覚醒確立を上げることができるという仮説が立った。彼はそのFH組織の人体実験の被検体である。彼は「悲しい」の感情を消されて、オーヴァードとして覚醒した。覚醒後はエグザイルの能力を活かし、FH戦闘員として暗殺業務を担っていた。体を液化化したり別のものに変えたりして目標の居場所へ潜入し、対象を屠るとい手段で多くの命を奪っている。

とある任務で彼は大きな失敗をし、FH組織から見限られた。その時、彼にはクロという身元引受人ができていた。クロは彼をマッドと呼んだ。クロはギルドという組織で働くギルドメンバーだという。FHからマッドを何のために引き取ったのか。どのようにして引き取ったのか、どんな取引や思惑があったのか? 疑問は尽きなかったが、マッドにはどうでもよかった。今までFHの命令をこなすためだけに生きてきた。命令の出どころが変わっただけなのだから。元々ギルドで貴重品の収集活動を行っていたクロと共に働き始めたマッドは、その潜入スキルと体の変形を利用し、貴重品を盗み出す実働部隊として動くことになり。泥棒としての技術を磨いていった。しかし、任務を行う際、クロは安易に命令を下してはくれなかった。「君ならどのように攻略しますか?」「君はこの所有者をどのような人物だと思いますか?」「これは命令ですよ?」必ず彼は、任務に対しての質問をマッドに行った。命令である以上マッドはそれにこたえなくてはならないと感じた。「僕はね、目標の構造物が完全に密閉されてないってわかったからさ、ここから入って、警備システムを抜いて……楽勝かな!」「見栄を張ってる人だと思ふよ。プライドが高いってことだね。見え張って高い警備雇ってるけど、無駄骨って気づいてないみたい!」

ある時のことである。「どのような思いでこの遺物を彼女は所持していると感じますか?」今回はマッドは答えを出すことに難航していた。「うーん。元々遺物に興味ないし、お金にもそんなに困ってる様子も執着もないし……。なんでだろ、わかんない!」